本人の思いを形にする支援とは

～LIFEを活かし、‘やりたい’を引き出す対話から支援のスキル～

研修の背景と目的

● **研修の背景**

・通所介護における自立支援・重度化防止の推進

・生活機能チェックシート等を活用した適切なアセスメント

・本人の思いや意向を踏まえた支援の重要性

● **研修の目的**

・生活機能の評価と本人の意向確認を結びつける

・本人の思いを踏まえた支援プログラムの立案を学ぶ

・現場で活用できるアセスメント力・支援力を高める

研修の構成（Ⅰ～Ⅲ）

プログラム	内容	形式	時期
Ⅰ	LIFE評価の意義と活用方法（生活機能チェックシート）	動画	・動画配信 11月中旬 ～ ・対面研修 令和9年1月22日（金）
Ⅱ	意向確認技術の理解（聴き方の工夫、目標へのつなげ方）	動画＋対面	
Ⅲ	支援プログラム検討（事例におけるプログラム検討）	動画＋対面	

学修のポイント
評価 → 意向確認 → 支援プログラムの立案
この一連の流れを理解し、実際の支援につなげることを目指します

学習確認レポート・対面研修について

● 学習確認レポート

（Ⅰ～Ⅲすべて）

- 動画Ⅰ～Ⅲの視聴後、各2問に回答（各100～200字）
- 「学んだこと」「明日から実践したいこと」
- 提出方法：メールで、埼玉県福祉部地域包括ケア課に提出

● 対面研修

- 開催日：令和9年1月22日（金）
- 動画Ⅰ～Ⅲを事前に視聴
- 事例やロールプレイを通して、意向確認と支援プログラムの検討を実践
- 事前アンケートで現場の困りごとや課題を伺い、参加者間で共有・検討